



## 学びをつなげる連携

### 小学校や高等学校との接続

小学校で学習した内容

4年 私たちの住む県のような県内の特色ある地域の特徴  
5年 日本の自然環境の特色  
日本の農林水産業、工業、情報  
日本の災害・防災、環境保全

↑地理 各章の導入ページ



↑歴史 導入単元 既習内容の振り返り

小学校の振り返り・活用

## 中学社会

高等学校公民科への見通し



↑公民 巻末口絵

## カリキュラム・マネジメントへの対応

校種間や分野間、他教科等と関連のある教材を多数紹介しました。  
学習内容が共通する場合、担当の先生方と相談しながら、地域や学校の実態に合わせたカリキュラムを編成していただけます。

### 分野間の連携

↑歴史 P.124-125  
地理的分野との関連

↑地理 P.272  
公民的分野との関連

2年UP 地域のあり方を考える③  
対立したときに合意を形成する方法

地域の課題を解決する構想をつくる際には、さまざまな提案が生まれて、その二つが対立してしまったときには、次のように①～④のどちらかを選択する。

- ① ②を6割、③を4割というふうにして、二つの案を取り入れる
- ② ①の次に③を行う、③の次に①を行うというふうにして、二つを6割、④を4割というふうにして、二つの案を取り入れる
- ③ ①の次に③を行う、③の次に①を行うというふうにして、二つを6割、④を4割というふうにして、二つの案を取り入れる
- ④ ①でも②でもない、③という新しい案を考える

「私たちのまちづくりプラン」をまとめる際には、四つの方法の

↓連携コーナー

- 地理
- 歴史
- 公民

本文ページの脚注欄には、連携コーナーを設けて、他分野や小学校との関連を示しました。

### 他教科等との連携

↑数学との連携

↑地理 P.133

↑国語との連携

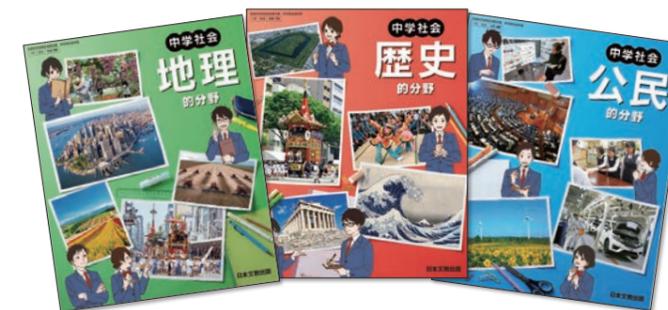
↑歴史 P.50

↑道徳との連携

↑公民 P.116

令和3年度版

# 中学社会 内容解説資料(別冊)



## 考える力を育てる 見方・考え方

日文の新しい教科書『中学社会』は、地理・歴史・公民の三分野で統一した紙面で「見方・考え方」を働かせた授業や学習を、毎時間行うことができます。

これを3年間継続することで、生徒の資質・能力の基礎を育成します。

## 見方・考え方

学習 課題

深めよう

確認

本資料は内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

日文の教科書情報

詳しくはWebへ!

日文 検索



新しい教科書紙面をご紹介します!

未来をにう子どもたちへ  
日本文教出版

# 「見方・考え方」を働かせて「深い学び」を実現します

### 「見方・考え方」とはどのようなものですか？

新学習指導要領では、教科の学習の本質が「見方・考え方」を働かせることとされています。

「見方・考え方」は、課題を追究したり、解決したりする活動において、考察・構想する際の「視点や方法(考え方)」であるとともに、資質・能力全体の中核とされています。

## 「見方・考え方」をわかりやすく

学習に入る前に、親しみやすいイラストなどを使って、「見方・考え方」をわかりやすく紹介するページを設け、学習に入りやすいように工夫しました。

## 毎時間の「見方・考え方」を働かせた学習

すべての本文ページに、「見方・考え方」コーナーと「深めよう」などの「見方・考え方」を働かせる問いを設けて、主体的・対話的で深い学びを実現します。

## 学習プロセスの改善

「どのように学ぶか」を重視して、教材を選択しています。



## 問題解決的な学習

具体的な課題や資料をもとに、それまでの学習で習得した知識や技能を活用して、問題解決的な学習に取り組みます。

思考力・判断力・表現力を高める

### 地理



↑P.Ⅱ-Ⅲ 巻頭口絵



「見方・考え方」コーナーは、学習課題を解決する手がかりです。

見方・考え方 地域  
関東地方の地域的特色をふまえて、東京大都市圏の変化に着目しましょう。



↑P230-231

深めよう  
東京への一極集中にともなう課題の一つを取り上げ、どのように解決すればよいか考えましょう。

※州・地方学習では、「主体的」→「対話的」→「深い」の順で学習が深まっていきます。



↑P.232-233 ふりかえりページ

地理ではふりかえりページで、問題解決的な学習に取り組みます。

### 歴史



↑P.12-13 導入単元



各分野とも、「深めよう」は、「見方・考え方」をカギにして考えます。

見方・考え方 つながり  
源頼朝と御家人との関係に着目しましょう。



↑P.72-73

深めよう  
承久の乱の後、幕府の政治はどのように変わったのでしょうか。

※歴史の「深めよう」は、多様な「見方・考え方」を働かせて、歴史を多面的・多角的に考察することができます。



↑P.216-217 チャレンジ歴史

歴史について自分で考え、対話することができます。

### 公民



↑P.34-35 編導入



各分野とも、協働学習やシンキングツールを豊富に掲載しています。

見方・考え方 効率と公正  
なぜ選挙という方法があるのか、なぜそれぞれの選挙制度の特徴があるのか、効率と公正に着目して理解しましょう。



↑P.80-81

※公民では、「アクティビティ」でも、見方・考え方を働かせる問いを設けています。



↑P.118-119 チャレンジ公民

公民では「社会の課題」を考察し、構想します。